

## チャレンジ項目記入数 20

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		経営者は、経営理念に基づき従業員に説明し共有している。社内のイベントで繰り返し発信する事により従業員へ浸透している。経営理念に沿った行動が評価対象になるように制度設計することにより理念の実践につなげる。従業員は、各々が責任を持って、技術・業務効率の向上に努め、常に安全第一に取り組んでいる。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		コンプライアンス推進の為、行動規範であるべき姿を社員に提示し、又、会社側は社員に対して就業規則等を整え法令を確実に遵守する体制を構築している。																	16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		会議の際に従業員に向け公正な取引について徹底しており、取引先においても、常に不当な値引き等がないか、チェックしている。											10							16
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		自社の事業活動が、社会・環境に及ぼす影響を常に考慮し自然災害を誘発することの無いよう担当者である主任技術者を配置し、最善の策を考慮して事業にあたっている。																	16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		自社製造製品(Fe石灰処理土)をはじめ、これまで培った技術・経験を基に、知的財産の保護に関する研修や勉強会を実施している。								8.2 8.3	9								16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		紙ベースの重要書類は、施錠にて管理をし、必要に応じてパソコンに入力の場合はパスワードを設定している。 就業規則に「情報管理」について明記し、個人情報が漏洩しないよう徹底している。																		16
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		公的事業、民間事業に関しても、地元住民に工事説明をし、交通等に支障をきたさないか確認し、行政の担当者と連携しながら、双方コミュニケーションを行っている。																	16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		地震や水害などの自然災害に備え従業員の安全確保、被害の最小化、事業の早期復旧にむけた災害対策マニュアルの作成している。緊急時の対応手順、社内外の連絡体制の整備を行い避難訓練の実施等により対策を行っている。					5			8	10	12	13	14	15	16	17			
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		地震や水害などの自然災害に備え事業継続力計画や災害時緊急連絡体制の作成や避難訓練の実施等により対策を行っている。								9	11	13.1							16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		後継者の指導・育成として、土木の基礎から専門知識、経営のノウハウについても指導している。								8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●		コーヒー、紅茶等はフェアトレード商品の購入に取り組んでいる。	1	2			5			8			12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		様々なハラスメント、雇用条件等は差別しない体制・運営を徹底している。各種の相談、苦情は窓口を設け、責任者を社長としている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3								16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		各種作業に対し、責任者を義務付けており、安全で衛生的な労働環境に取組、又、健康被害の防止の為、空気清浄機・ウォーターサーバーの設置もしている。		3						8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		同一労働同一賃金ガイドラインに沿った就業規則を定め、従業員に公正な待遇を行っている。					5.5			8.5	10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		育児休暇・介護休暇制度を導入しており、家庭と仕事の両立を図れる体制を整備している。又、所定労働時間の徹底管理や有給休暇の取得を奨励している。		3		5.5				8.5 8.8	10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		積極的に従業員が希望する資格取得には掛かる費用は全て負担し、講習会の受講・受験を奨励し取得後には賃金の昇給を行っている。			4	5.5				8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		日雇い社員も含め、全ての従業員は定期的に健康診断を実施し負担している。又、二次検診の勧奨を行い一人一人の従業員に対して健康・生活面において声掛けを行っている。		3						8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		全ての従業員が平等に活躍できる環境を整備し、育児や介護を行う従業員も変形労働時間制、又、定年後、再雇用制度も導入している。			4.4	5.1 5.5				8.5	10.2 10.3								16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		新型コロナウイルスが5類感染症に移行したためマスク着用等は本人の判断とした。引き続き事務所入口に消毒液設置し手指の消毒を推奨している。		3						8	9.1	11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		ICT施工やドローン活用による効率的な業務運営や効率化を図っている。 WEB会議を活用し業務効率化に取り組んでいる。								8	9.1	11	12							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		プライト企業に認定されている。			3	4				8	9		12							

チャレンジ項目記入数 20

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		廃棄物についてはマニュフェスト伝票に基づき分別の徹底、適正な処理に取り組んでいる。			3.9			6.3						11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		炭削くんを活用し各現場ごとのダンプ・重機・機械類のガソリン・軽油の使用量から燃費を把握し、適宜対応し使用削減に取り組んでいる。 熊本県の事業活動温暖化対策計画書、エコ通勤環境配慮計画を策定し削減に取り組んでいる。 【予定】2026年6月までにエコアクション21の認定取得を目指す。							7.3							13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		炭削くんを活用し排出量を計算し、社内の冷暖房利用において適正な温度管理を行うと共に、事務所の照明は全てLEDに取替え、CO2排出量の抑制に取り組んでいる。 熊本県の事業活動温暖化対策計画書、エコ通勤環境配慮計画を策定し削減に取り組んでいる。 【予定】2026年6月までにエコアクション21の認定取得を目指す。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		事務所内において、可燃物、リサイクルを分別し適正に処理している。 又、従業員へのエコパック配布をし、レジ袋の使用削減に取り組んでいる。						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		再生用紙の利用、裏紙の再利用に取り組んでいる。 Fe使用により廃土や廃棄物削減に取り組んでいる。								9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		事務所内に「節水」を提示し従業員全てに周知している。事務所には節水器具を使用、散水車使用時は、川の水を汲み上げ使用することで節水に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		再生用紙、リサイクル製品の利用を推奨している。 再生材を使用することで環境に配慮している。								9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		社員には、「てまえどり」や、規格外の農産物の購入を呼び掛けている。	1	2			6.4							12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		社内において、植栽、花壇の管理に取り組んでいる。製造現場では、防塵、防音対策として植林をおこなっている。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		工事現場で使用する重機、看板、警告灯等は太陽光仕様の物など再生可能エネルギーを利用しているものを選定するように取り組んでいる。						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		適正な山砂採取を実施し、採取後は植樹することで森林整備に取り組んでいる。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		レジ袋やペットボトル等の使用削減に取り組む為、事務所・現場事務所に給水器を設置している。											12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		社用車の買い替え時は随時エコカー導入に取り組んでいる。							9.4		11.2		13.1 13.3							
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●		CO2削減の計画を立て、2050年CO2排出実質ゼロを目指し取り組んでいる。 【予定】2026年6月までにエコアクション21の認定取得を目指す。						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

チャレンジ項目記入数 20

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		製品の品質を保持する為、定期的に製品試験を行い、又、顧客との打ち合わせにより、より良い状態の製品納入している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		高齢者対策として、トイレを和式から洋式に改修している。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		現場・Fe石灰処理土の材料は、熊本県産の原材料を積極的に使用している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●								7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●		地震などの自然災害に備え地盤改良材(Fe石灰)の普及、製造、販売に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		ボランティア活動として、地域のごみ拾いや草刈り、側溝の土砂撤去等を積極的に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		地域の危険性を把握し、気象情報・避難情報を収集し避難行動計画を作成している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		地域の危険箇所を把握し災害時には巡回をおこなっている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●											9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		社員全てがすぐに取り組めるように、SDGsを身边に感じるよう普及活動を行っている。社内においてSDGsのチームを発足し、情報を共有し実行する為、意見交換を随時行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		地域の学校と連携し、高校生のインターンシップを積極的に受け入れており地域の学生に対し、職場の学びの場を提供している。毎年インターンシップ受入れを行っている。				4					8.6		10.2					17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		学卒者の求人を行なうため職業安定所の講習会を受講し、地域の高校へ求人の申し込みを行い県内就職を促進する取り組みを行っている。				4.4					8.5 8.6							17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●				2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。